

プロテックス

技術情報 ダウンロード資料

耐薬品データ表 (ポリプロピレン)

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

判断基準

- ◎：優(全く、あるいはほとんど影響がない) ○：良(若干影響あるが、条件により充分使用に耐える)
 △：可(なるべく使わないほうがよい) ×：不可(影響が大きいため、使用に適さない)

お問い合わせの際は、下記項目をご確認のうえご連絡ください。

- (1) 使用圧力 (2) 使用最高温度 (3) 濃度 (4) 配管状況 (5) 用途

[1] この耐薬品性一覧表の判定基準は一定の条件下で作成しています。
 したがって貴社の使用環境、使用条件、使用期間などでは、判断基準が○であっても適さない場合があります。

[2] ご使用の際には必ず実際の使用状況下でのご確認をお願いします。

[3] 一覧表の薬品は特に断りのない場合、水溶液濃度は飽和状態で、使用温度を常温とします。

薬品名	判定	薬品名	判定
ア行			
アクリル酸ブチル	△	亜硝酸アンモニウム	◎
アスファルト	◎	アセチレン	◎
アセトアミド	○	アセトアルデヒド	○
アセトン	△	アニリン	△
アニリン染科	◎	亜麻仁油	◎
アミルアルコール	○	アミルナフタリン	○
亜硫酸【10%・常温】	◎	亜硫酸ガス	◎
亜硫酸ナトリウム	◎	アンモニア(無水)	◎
硫黄	◎	イソブチルアルコール	◎
イソプロピルアルコール	◎	イソプロピルエーテル	○
ウィスキー	◎	液化石油ガス	◎
液体アンモニア	○	液体塩素	×
エタノールアミン	○	エチルアルコール(エタノール、アルコール)	○
エチルセルロース	◎	エチルベンゼン	△
エチレンオキサイド	◎	エチレングリコール	○
エチレンクロルヒドリン	△	エチレンジアミン	○
塩化亜鉛	◎	塩化アルミニウム	◎
塩化アンモニウム	◎	塩化硫黄(イオウ)	◎
塩化エチル	△	塩化カリウム	◎
塩化カルシウム	◎	塩化(第二)水銀	◎
塩化第二錫	◎	塩化第二銅	◎
塩化チオニル	×	塩化(第二)鉄	◎
塩化ニッケル	◎	塩化バリウム	◎

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

薬品名	判定	薬品名	判定
ア行			
塩化マグネシウム	◎	塩化メチル	△
塩酸【10%・常温】	◎	塩酸【20%・常温】	◎
塩酸【20%・80℃】	○	塩酸【38%・常温】	◎
塩水	◎	塩素ガス(乾)	△
塩素ガス(湿)	△	塩素化溶剤	×
王水	△	オクチルアルコール	◎
オリーブ油	○	オレイン酸	○
カ行			
過塩素酸	△	過酸化水素【5%・常温】	◎
過酸化水素【5%・50℃】	◎	過酸化水素【30%・常温】	◎
過酸化ナトリウム	◎	苛性ソーダ【10%・常温】	◎
苛性ソーダ【30%・常温】	◎	苛性ソーダ【30%・70℃】	◎
ガソリン	○	過ほう酸ナトリウム	◎
過マンガン酸カリ【5%・常温】	◎	過硫酸アンモニウム	◎
ぎ酸【25%・常温】	◎	ぎ酸【50%・常温】	◎
ぎ酸【90%・常温】	◎	キシレン	△
桐油	◎	クエン酸	◎
グリース	△	グリセリン	◎
グルコース	◎	クレゾール	○
クロム酸【2%・70℃】	○	クロム酸【5%・70℃】	○
クロム酸【10%・70℃】	△	クロム酸【25%・70℃】	×
クロロアセトン	△	クロロスルホン酸	×
クロロトルエン	△	クロロホルム	×
ケロシン	△	現像液(ハイポ)	◎
鉱油	○	—	—
サ行			
酢酸【10%・常温】	◎	酢酸【50%・常温】	○
酢酸【50%・70℃】	△	酢酸【100%・常温】	△
酢酸亜鉛	◎	酢酸アミル	△
酢酸アルミニウム	◎	酢酸イソプロピル	△
酢酸エチル	△	酢酸カルシウム	◎
酢酸鉛	◎	酢酸ニッケル	◎
酢酸ブチル	△	酢酸プロピル	△
酢酸メチル	△	サリチル酸	◎

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

薬品名	判定	薬品名	判定
サ行			
酸洗液【硝酸20%・ふっ酸4%】	◎	酸洗液【硫酸40%・硝酸15%】	◎
酸素	◎	次亜塩素酸	◎
次亜塩素酸カルシウム（高度さらし粉）【20%・常温】	◎	次亜塩素酸ナトリウム【5%・常温】	◎
次亜塩素酸ナトリウム【5%・70℃】	○	シアン化水素酸	◎
シアン化銅	◎	シアン化ナトリウム	◎
ジイソプロピルケトン	△	ジエチルエーテル	△
ジエチルセバケート	△	四エチル鉛	○
ジエチレングリコール	◎	四塩化炭素	△
ジオクチルセバケート	○	ジオクチルフタレート	○
シクロヘキサノール	○	シクロヘキサノン（アノン）	△
シクロヘキサン	△	ジクロロベンゼン	△
ジブチルエーテル	△	ジブチルフタレート	○
ジベンジルエーテル	△	脂肪酸	△
ジメチルホルムアミド	△	酒石酸	△
重亜硫酸カルシウム	◎	重亜硫酸ナトリウム	◎
臭化アルミニウム	◎	臭化水素酸【20%・常温】	◎
臭化水素酸【20%・70℃】	◎	臭化水素酸【37%・常温】	◎
重クロム酸カリウム【10%・常温】	◎	しゅう酸	◎
臭素	△×	重炭酸ナトリウム	◎
重硫酸ナトリウム	◎	潤滑油	○
硝酸【10%・常温】	◎	硝酸【10%・70℃】	○
硝酸【30%・常温】	○	硝酸【30%・70℃】	△
硝酸【61.3%・常温】	△	硝酸【発煙・常温】	×
硝酸アルミニウム	◎	硝酸アンモニウム	◎
硝酸カリウム	◎	硝酸カルシウム	◎
硝酸銀	◎	硝酸（第二）鉄	◎
硝酸ナトリウム	◎	硝酸鉛	◎
食塩	◎	植物油	◎
しょ糖液	◎	シリコングリース	○
シリコン油	○	酢	◎
水銀	◎	水酸化アンモニウム（アンモニア水）	◎
水酸化カリウム	◎	水酸化カルシウム	◎
水酸化バリウム	◎	水酸化マグネシウム	◎
水蒸気【150%以下】	△	水蒸気【150%以上】	△

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

薬品名	判定	薬品名	判定
サ行			
水素	◎	スチレン	○
ステアリン酸	○	スルファミン酸鉛	◎
青酸カリ	◎	ゼオライト	◎
石油	○	石けん液	◎
ゼラチン	◎	セロソルブ	△
ソーダ灰	◎	—	—
タ行			
タール	○	大豆油	◎
炭酸	○	炭酸アンモニウム	◎
炭酸ガス	◎	タンニン酸	◎
チオ硫酸ナトリウム	◎	窒素	◎
テトラクロロエタン	△	テトラヒドロフラン	△
テトラリン	△	テルピネオール	○△
テレピン油	△	てんさい糖液	◎
天然ガス	◎	動物油（ラード）	◎
トウモロコシ油	○	トリエタノールアミン	○
トリクロルエチレン（トリクレン）	△	トルエン	△
ナ行			
ナフサ	○△	ナフタリン	◎
ナフテン酸	◎	二塩化メチレン	△
ニカワ	◎	ニトロエタン	×
ニトロプロパン	×	ニトロベンゼン	△×
ニトロメタン	×	乳酸	◎
二硫化炭素	×	—	—
ハ行			
パークロロエチレン	△	灰汁・あく液	◎
ハイドロキニン	◎	パイン油	○
バター	◎	パルチミン酸	◎
ビール	◎	ピクリン酸	○
ひ酸	◎	ひまし油	◎
ピロール	○	ブタン	◎
ふっ化アルミニウム	◎	ふっ化水素酸【10%・常温】	◎
ふっ化水素酸【20%・常温】	◎	ふっ化水素酸【40%・常温】	◎
ふっ化けい素酸	◎	ふっ化ほう素酸	◎

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

薬品名	判定	薬品名	判定
ハ行			
フルフラール	×	プロパン	◎
プロピルアルコール	○	フロロベンゼン	△
ヘキサン	△	ヘキシナルコール	○
ベンジン	△	ベンズアルデヒド	△
ベンゼン (ベンゾール)	△	ほう砂	◎
ほう酸	◎	ほう酸アミル	○
ほう硝	◎	ホルムアルデヒド【40%・常温】	◎
マ行			
マレイン酸	◎	水	◎
明ばん	◎	ミルク	◎
無水酢酸	○	無水ふっ化水素酸	◎
メタクリル酸メチル	△	メタリン酸ナトリウム	◎
メチルアルコール	○	メチルイソブチルケトン	△
メチルエチルケトン	△	綿実油	○
モノエタノールアミン	◎○	モノクロル酢酸	○△
モノクロロベンゼン	△	—	—
ヤ行			
やし油	◎	—	—
ラ行			
ラード	◎	ラッカー	△
リノレン酸	◎	硫化亜鉛	◎
硫化カルシウム	◎	硫化水素	◎
硫化バリウム	◎	硫酸【10%・常温】	◎
硫酸【10%・70℃】	◎	硫酸【30%常温】	◎
硫酸【30%・70℃】	◎	硫酸【98%・常温】	△
硫酸【発煙・常温】	△	硫酸アルミニウム	◎
硫酸アンモニウム	◎	硫酸カリウム	◎
硫酸(第二)鉄	◎	硫酸銅	◎
硫酸ニッケル	◎	硫酸バリウム	◎
硫酸マグネシウム	◎	りんご酸	◎
リン酸【50%・常温】	◎	リン酸【50%・70℃】	◎
リン酸【75%・常温】	◎	リン酸アンモニウム	◎
リン酸ナトリウム	◎	—	—

耐薬品データ表(ポリプロピレン)

薬品名	判定	薬品名	判定
A~Z			
ASTM refernce NO.1(ASTMオイル)	○	ASTM refernce NO.2(ASTMオイル)	○
ASTM refernce NO.3(ASTMオイル)	○	ASTM refernce fuel A(ASTM標準燃料)	○△
ASTM refernce fuel B(ASTM標準燃料)	○△	ASTM refernce fuel C(ASTM標準燃料)	○△
JP燃料油	△	—	—